

2019年度 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部PT・OT・STの足跡

I. 原著論文

1. Oosawa R, Iwasaki R, Suzuki T, Tanabe S, Sugawara K. Neurophysiological Analysis of Intermanual Transfer in Motor Learning. *Front Hum Neurosci.* 2019
2. Yamamoto S, Yamaga T, Nishie K, Nagata C, Mori R. Positive airway pressure therapy for the treatment of central sleep apnoea associated with heart failure. *Cochrane Database Syst Rev.* 2019
3. Sakai Y, Yamamoto S, Hoshina M, Kawachi S, Ichiyama T, Hanaoka M. Using SpO₂ Recovery Index after a 6-Minute Walk Test to Predict Respiratory-Related Events in Hospitalized Patients with Interstitial Pneumonia. *Sci Rep.* 2019
4. Sakai Y, Ohira M, Yokokawa Y. Cough Strength Is an Indicator of Aspiration Risk When Restarting Food Intake in Elderly Subjects with Community-Acquired Pneumonia. *Respir Care.* 2019
5. Tokida R, Uehara M, Ikegami S, Takahashi J, Nishimura H, Kuraishi S, Kato H. Association Between Sagittal Spinal Alignment and Physical Function in the Japanese General Elderly Population: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry. *J Bone Joint Surg Am.* 2019
6. Ikegami S, Takahashi J, Uehara M, Tokida R, Nishimura H, Sakai A, Kato H. Physical performance reflects cognitive function, fall risk, and quality of life in community dwelling older people. *Sci Rep.* 2019
7. Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, Tokida R, Nishimura H, Kuraishi S, Sakai N, Kato H. Impact of Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis on Sagittal Spinal Alignment in the General Elderly Population: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry. *JBJs Open Access.* 2019

8. Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, Tokida R, Nishimura H, Sakai N, Kato H. Prevalence of Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis in the General Elderly Population: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled From a Basic Resident Registry. Clin Spine Surg. 2019
9. Sato M, Ido Y, Yoshimura Y, Mutai H. Relationship of Malnutrition During Hospitalization With Functional Recovery and Postdischarge Destination in Elderly Stroke Patients. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2019
10. Motoki H, Nishimura M, Kanai M, Kimura K, Minamisawa M, Yamamoto S, Saigusa T, Ebisawa S, Okada A, Kuwahara K. Impact of inpatient cardiac rehabilitation on Barthel Index score and prognosis in patients with acute decompensated heart failure. Int J Cardiol. 2019
11. 山本周平, 佐藤正彬, 高尾ゆきえ, 清水彩里: 集中治療領域でのリハビリテーションのエビデンスと介入方法. 秋田理学療法 26: 17-21, 2019
12. 西村輝, 井戸芳和, 池上章太: 抑うつ傾向を呈した消化器がん患者に対する作業療法. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 40: 17-20, 2019
13. 小口和津子, 山本周平, 寺島さつき, 水谷瞳, 岡本梨江, 吉村康夫: 心臓血管外科術後の経口摂取開始が遅延する要因について. 日本集中治療医学会雑誌 26: 163-9, 2019
14. 小口和津子, 山本周平, 寺島さつき, 岡本梨江, 吉村康夫: 心臓血管外科術後の肺炎と嚥下機能の関係. 心臓リハビリテーション 25: 96-102, 2019

II. 執筆

1. 山本周平: 外来における VAD 管理 外来受診時のチェックポイント 理学療法士の立場から. 必携! 在宅 VAD 管理 植込型補助人工心臓による治療の進歩と QOL の向上. 日本人工臓器学会 (監), はる書房, p266-270, 2019
2. 山本周平: リハビリテーションのための患者評価 ADL 評価. 循環器リハビリテーションの理論と技術 改訂第 2 版. 増田卓, 松永篤彦 (編), メジカルビュー社, p185-196, 2020

III. シンポジウム・学会発表

1. 池上章太, 高橋淳, 上原将志, 常田亮介, 西村輝, 倉石修吾, 大場悠己, 滝沢崇, 宗像諒, 畠中輝枝, 酒井典子, 加藤博之: 頰椎症に伴う頰椎アライメント変化の病理は全脊柱バランスとの調和破綻の顕在化 住民コホート研究おぶせスタディの検討より. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 一般演題 (口述), パシフィコ横浜, 2019 年 4 月
2. 池上章太, 高橋淳, 上原将志, 常田亮介, 西村輝, 倉石修吾, 大場悠己, 滝沢崇, 宗像諒, 畠中輝枝, 酒井典子, 加藤博之: 一般住民における脊椎アライメントの悪化は運動機能の低下・ロコモを示唆する 住民コホート研究おぶせスタディの検討より. 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 一般演題 (口述), パシフィコ横浜, 2019 年 4 月
3. 村井貴, 井戸芳和, 磯部文洋, 中村恒一: 重度手根管症候群において短母指屈筋が巧緻動作に与える影響について. 第 62 回日本手外科学会学術集会, 一般演題 (口述), 札幌コンベンションセンター, 2019 年 4 月
4. 磯部文洋, 池上章太, 井戸芳和, 中村恒一, 林正徳, 加藤博之: QuickDASH の標準値続報 町民コホートおぶせスタディより. 第 62 回日本手外科学会学術集会, 一般演題 (口述), 札幌コンベンションセンター, 2019 年 4 月
5. 北村陽, 林正徳, 橋本瞬, 井戸芳和, 中山健太郎, 加藤博之: 50 歳から 89 歳の変形性手関節症の有病率 地域住民コホートおぶせスタディより. 第 62 回日本手外科学会学術集会, 一般演題 (口述), 札幌コンベンションセンター, 2019 年 4 月
6. 上甲巖雄, 内山茂晴, 橋本瞬, 井戸芳和, 中山健太郎, 加藤博之: 手指の変形性関節症の有病率と関連因子 地域住民コホートおぶせスタディより. 第 62 回日本手外科学会学術集会, 一般演題 (口述), 札幌コンベンションセンター, 2019 年 4 月
7. 池上章太, 上原将志, 高橋淳, 常田亮介, 西村輝, 酒井典子, 加藤博之: 無作為抽出した地域住民コホートによる高齢者脊柱矢状面アライメントの評価. 第 92 回日本整形外科学会学術総会, 一般演題 (口述), パシフィコ横浜, 2019 年 5 月

8. 松森圭司, 山鹿隆義, 大津勇介: 進行肺がん患者の栄養状態, 体組成成分と 6 分間歩行距離の関連. 第 41 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会, 一般演題 (口述), 徳島大学病院, 2019 年 5 月
9. 伊藤駿, 西村輝, 大澤竜司, 井戸芳和, 吉村康夫: 頸髄損傷により重度上肢機能障害を呈した一例 食事動作獲得をきっかけに ADL が拡大した事例. 第 41 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会, 一般演題 (口述), 徳島大学病院, 2019 年 5 月
10. 村井貴, 井戸芳和, 宮澤諒, 松本直也, 赤羽陽子, 榊原侑希, 勝野妙子, 中村恒一: 手根管症候群術後患者におけるローゼンスコアの重症度別推移. 第 56 回日本リハビリテーション医学会学会学術集会, 一般演題 (ポスター), 神戸コンベンションセンター, 2019 年 6 月
11. 小口和津子, 寺島さつき, 山本周平, 酒井康成, 岡本梨江, 新井瑠夏, 堀内博志: 気管挿管チューブ抜管後の水嚥下時における舌骨上筋群の筋活動量および筋活動持続時間の継日的変化と嚥下機能の関係. 第 20 回日本言語聴覚学会, 一般演題 (口述), iichiko 総合文化センター, 2019 年 6 月
12. 新井瑠夏, 寺島さつき, 荒川裕子, 小口和津子, 堀内博志: 当院における口腔癌術後の経口摂取確立までの経過. 第 20 回日本言語聴覚学会, 一般演題 (口述), iichiko 総合文化センター, 2019 年 6 月
13. 寺島さつき, 小口和津子, 新井瑠夏, 堀内博志: 術後合併症として嚥下・構音障害を呈した症例への心理的配慮と障害受容へのアプローチ. 第 20 回日本言語聴覚学会, 一般演題 (ポスター), 大分県立美術館, 2019 年 6 月
14. 岩井龍之介, 中野未来, 田中佐千恵, 杉山暢宏, 小林正義, 鷲塚伸介: 作業療法を取り入れた復職支援プログラムの特徴 医療機関を対象に行われた調査研究との比較. 第 35 回長野県作業療法学術大会, 一般演題 (ポスター), 長野県松本文化会館, 2019 年 6 月
15. 中野未来, 岩井龍之介, 田中佐千恵, 小林正義, 杉山暢宏: うつ病入院患者に対する作業療法プログラムと服薬量の関係 重症度分類による検討. 第 35 回長野県作業療法学術大会, 一般演題 (ポスター), 長野県松本文化会館, 2019 年 6 月

16. 山本周平：運動パフォーマンス測定を臨床で活用する方法．第25回日本心臓リハビリテーション学会，教育基本講座，グランキューブ大阪，2019年7月
17. 酒井康成，山本周平，保科美穂，川内翔平，市山崇史，花岡正幸：入院期間質性肺炎患者における6分間歩行テスト後のSpO₂ Recovery Indexは呼吸関連イベントの予測因子となり得るか？日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部 第5回学術集会，一般演題（口述），信州大学医学部附属病院，2019年7月
18. 保科美穂，山本周平，酒井康成，川内翔平，市山崇史：間質性肺炎患者における筋肥厚測定の信頼性および妥当性の検討．日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 甲信越支部 第5回学術集会，一般演題（口述），信州大学医学部附属病院，2019年7月
19. 山本周平：内科疾患の重症化予防に対する理学療法．日本予防理学療法学会 第5回サテライト集会，シンポジウム，筑波大学東京キャンパス，2019年8月
20. 松森圭司，山鹿隆義，大津勇介：進行がん患者における骨格筋量減少はADL，身体活動に影響するか．第4回がんサポーターズケア学会学術集会，一般演題（ポスター），リンクステーションホール青森，2019年9月
21. 山鹿隆義，松森圭司，大津勇介，小泉知展：進行がん患者の軽度の身体活動量はQOLに影響するのか？傾向スコアを用いた解析．第53回日本作業療法学会，スペシャルセッション，福岡国際会議場，2019年9月
22. 佐藤正彬，山本周平，石田昂彬，三澤加代子，務台均：フレイルを伴う高齢心不全患者における認知機能障害は死亡や再入院の危険因子である 少数集団による探索的調査．第53回日本作業療法学会，一般演題（口述），福岡国際会議場，2019年9月
23. 高田明子：若年上咽頭がん患者への復職支援が有効であった一症例．第53回日本作業療法学会，一般演題（ポスター），福岡国際会議場，2019年9月
24. 伊藤駿，西村輝，大澤竜司，井戸芳和，堀内博志：意図的な右上肢運動が停滞した左前頭葉退形成性星細胞腫の一例 食事動作の獲得を目指して．第53回日本作業療法学会，一般演題（ポスター），福岡国際会議場，2019年9月

25. 内田皓也, 伊藤駿, 西村輝, 井戸芳和, 堀内博志: 手の社会的役割に着目した作業療法が奏功した手指屈筋腱断裂例. 第 53 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 福岡国際会議場, 2019 年 9 月
26. 塚越大智, 西村輝, 山鹿隆義, 岩井龍之介, 堀内博志: 脊髄梗塞による対麻痺で抑うつ傾向を呈した事例 早期目標設定が抑うつ傾向是正・行動拡大のきっかけとなった介入. 第 53 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 福岡国際会議場, 2019 年 9 月
27. 岩井龍之介, 中野未来, 田中佐千恵, 杉山暢宏, 小林正義: 自閉スペクトラム特性を有する休職者の復職支援. 第 53 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 福岡国際会議場, 2019 年 9 月
28. 中野未来, 岩井龍之介, 田中佐千恵, 小林正義, 杉山暢宏: うつ病入院患者に対する作業療法プログラムと服薬量の関係 重症度分類における検討. 第 53 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 福岡国際会議場, 2019 年 9 月
29. 田中佐千恵, 岩井龍之介, 中野未来, 小林正義, 鷲塚伸介: 作業療法を取り入れたリワークプログラムの短期的・長期的有効性の検討. 第 53 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 福岡国際会議場, 2019 年 9 月
30. 石田昂彬, 山本周平, 常田亮介, 三澤加代子, 矢嶋史恵, 樋口智子, 池上章太, 堀内博志: 心疾患患者における 5 回立ち上がり検査から運動耐容能の推定. 第 4 回日本心血管理学療法学会学術大会, 一般演題 (ポスター), 沖縄コンベンションセンター, 2019 年 9 月【優秀賞受賞】
31. 常田亮介, 山本周平, 石田昂彬, 三澤加代子, 矢嶋史恵, 樋口智子, 池上章太, 堀内博志: 心疾患患者における認知機能低下症例を含めた歩行速度と再入院率との関係. 第 4 回日本心血管理学療法学会学術大会, 一般演題 (ポスター), 沖縄コンベンションセンター, 2019 年 9 月
32. 山本周平: 重複障害時代における理学療法の実践, サルコペニア・フレイルに対する理学療法について. 第 27 回全道学術研修大会 第 1 回道東支部学術研修大会, 特別講演, 北見芸術文化ホール, 2019 年 9 月

33. 上原将志, 高橋淳, 池上章太, 常田亮介, 西村輝, 加藤博之: 一般中高齡者集団における脊椎矢状面アライメント不良は身体機能低下を示唆する 無作為抽出によるコホート. 第 133 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 一般演題 (口述), 神戸国際会議場, 2019 年 9 月【学会奨励賞受賞】
34. 内田皓也, 伊藤駿, 西村輝, 井戸芳和, 堀内博志: 手の社会的役割に着目した作業療法が奏功した手指屈筋腱断裂例. 第 8 回中信ハンドセラピー研究会, 相澤病院, 一般演題 (口述), 2019 年 9 月
35. 塚越大智, 西村輝, 井戸芳和, 堀内博志: 床上安静を強いられた終末期がん患者に対して終活を支援した経験 作業療法士の視点から. 第 22 回日本在宅ホスピス協会全国大会, 一般演題 (ポスター), アピオ甲府, 2019 年 9 月
36. 井戸芳和: 医療変革時代に向けた国立大学病院リハビリテーション専門職のあり方 大学病院の中でリハ専門職としていかに貢献するか. 第 10 回国立大学病院リハビリテーション部門技師長・主任者会議, シンポジウム, 広島大学, 2019 年 10 月
37. 松森圭司, 山鹿隆義, 大津勇介: 進行がん患者におけるサルコペニアは ADL・身体活動量に影響するか. 第 2 回がん理学療法部門研究会, 一般演題 (口述), 清水園 (さいたま), 2019 年 10 月
38. 大野智貴, 川内翔平, 山本周平, 池上章太, 堀内博志: Easy Angle による関節可動域測定信頼性・妥当性. 第 7 回日本運動器理学療法学会学術大会, 一般演題 (口述), 岡山コンベンションセンター, 2019 年 10 月
39. 関みなみ, 塚越大智, 内田皓也, 西村輝: ウイルス関連血球貪食症候群の治療のために入院した児 神経発達特性に合わせた作業療法の経験. 中南信こども研究会, 一般演題 (口述), 信州大学病院リハビリテーション部, 2019 年 10 月
40. 酒井康成, 山本周平, 唐澤達典, 佐藤正彬, 新田憲市, 岡田まゆみ, 池上章太, 今村浩, 堀内博志: 敗血症患者に対する早期リハビリテーションは呼吸器合併症を低減させる 専従理学療法士配置による検討. 第 6 回日本呼吸理学療法学会学術大会, 一般演題 (ポスター), ウィンクあいち, 2019 年 11 月

41. 酒井康成, 山本周平, 保科美穂, 川内翔平, 市山崇史, 花岡正幸: 入院期間質性肺炎患者における 6 分間歩行テスト後の SpO₂ Recovery Index は呼吸関連イベントの予測因子である. 第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術大会, 一般演題 (口述), 名古屋国際会議場, 2019 年 11 月
42. 小口和津子, 山本周平, 市山崇史, 池上章太, 堀内博志, 花岡正幸: 抜管後の改訂水飲みテストは術後肺炎発症予測に有用である. 第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術大会, 一般演題 (ポスター), 名古屋国際会議場, 2019 年 11 月
43. 山本周平: 足病リハビリの現状について. 第 3 回信州フットケア研究会, パネルディスカッション, 信州大学病院外来棟大会議室, 2019 年 11 月
44. 伊藤駿, 西村輝, 大澤竜司, 井戸芳和, 堀内博志: 右上肢に間欠性運動開始困難を呈し, 右片麻痺が合併した事例 食事動作の獲得を目指して. 第 43 回日本高次脳機能障害学会学術総会, 仙台国際センター, 一般演題 (口述), 2019 年 11 月
45. 西村輝: 治療に難渋している TFCC 損傷例. 第 9 回中信ハンドセラピー研究会, 相澤病院, 一般演題 (口述), 2020 年 2 月

IV. 座長

1. 山本周平: 一般演題 ポスター合併症 (肺・腎・DM・不整脈等) 2. 第 4 回日本心血管理学療法学会学術大会, 座長, 沖縄コンベンションセンター, 2019 年 9 月
2. 高田明子: 一般演題 口述 がん 3. 第 53 回日本作業療法学会, 座長, 福岡国際会議場, 2019 年 9 月

V. 研修会講師

1. 山本周平: レビュークエスションの設定. コクランジャパン主催 京都コクランレビュー プロトコール ワークショップ, 講師, 京都大学, 2019 年 5 月 18 日
2. 高田明子: 泌尿器がんを経験した患者とその家族の生活支援. 日本作業療法士協会専門作業療法士取得研修がん基礎III, 講師, 新大阪丸ビル, 2019 年 6 月 1 日

3. 酒井康成：信州呼吸ケアネットワーク主催 第 21 回長野県呼吸ケアセミナー，講師，佐久医療センター，2019 年 6 月 23 日
4. 山本周平：チームで実践する急性期リハビリテーション 呼吸ケアとアウトカム獲得の観点から．長野呼吸療法研究会，講師，相澤病院，2019 年 6 月 30 日
5. 寺島さつき：食事介助方法と窒息予防．信州大学病院栄養サポートチーム会，講師，外来棟中会議室，2019 年 7 月 17 日
6. 酒井康成：呼吸リハビリテーション．信州大学病院東 6 階病棟勉強会，講師，東 6 階病棟，2019 年 9 月 6 日
7. 唐澤達典：高度救命救急センターにおける離床について．信州大学病院高度救命救急センター勉強会，講師，高度救命救急センター手術室，2019 年 9 月 20 日
8. 山本周平：レビュークエスションの設定，プロトコル・メタアナリシス Revman を使った演習．コクランジャパン主催 信州コクランレビュー プロトコール ワークショップ，講師，信州大学病院外来棟中会議室，2019 年 11 月 2 日
9. 小口和津子：嚥下評価について．信州大学病院 ICU 勉強会，講師，外来棟中会議室，2019 年 11 月 14 日
10. 山本周平：呼吸循環系のフィジカルアセスメント．第 20 回相模原リハビリストイック勉強会，講師，ポーノ相模大野，2019 年 12 月 7 日
11. 寺島さつき：食べること・話すことのお話．口唇口蓋裂センター市民公開講座．講師，上田創造館，2019 年 12 月 8 日
12. 山本周平：レビュークエスションの設定，研究の選択，連続変数アウトカムの解析，メタアナリシスのイントロダクション．コクランジャパン 系統的（フルレビュー）ワークショップ，講師，京都大学，2019 年 12 月 14 日，15 日
13. 高田明子：血液がんを経験した患者とその家族支援．日本作業療法士協会専門作業療法士取得研修がん基礎Ⅲ，講師，新横浜ホール，2019 年 12 月 15 日

14. 唐澤達典, 荻無里亜希, 石田昂彬, 横山幹郡: ベッドサイドで使用できるリハビリテーション器機. 信州大学病院高度救命救急センター勉強会, 講師, 物理療法室, 2019年12月25日
15. 寺島さつき: 食事開始前の口腔・嚥下機能評価と訓練法. 信州大学病院高度救命救急センター勉強会, 講師, 高度救命救急センター手術室, 2020年1月9日, 16日
16. 山本周平: 循環器・呼吸器疾患のリスク管理とフィジカルアセスメント. 総合リハビリ訪問ステーション市川サテライト主催 PT・OT・ST・看護師向け呼吸リハ勉強会, 講師, リボン本八幡校, 2020年1月19日
17. 小口和津子: 嚥下評価について. 信州大学病院 HCU 勉強会, 講師, HCU, 2020年1月22日, 28日, 29日
18. 岩井龍之介: 気分障害患者に対するリワークプログラムの紹介. 信州精神科作業療法研究会研修会, 講師, 信州大学地域保健推進センター, 2020年1月25日
19. 寺島さつき: 周術期における言語聴覚士の役割. 第1回口腔ケアフォーラム. 講師, 信州大学病院外来棟大会議室, 2020年2月1日
20. 山本周平: 循環器理学療法の基本. 新潟県理学療法士会主催 理学療法士講習会(基本編技術: 循環器), 講師, 新潟医療福祉大学, 2020年2月1日, 2日

Ⅵ. 研究費獲得

1. 酒井康成: 敗血症患者における早期リハビリテーション介入単独効果の検討 非無作為化対照試験. 信州大学病院 平成30年度教育・研究・診療推進プロジェクト経費

Ⅶ. 編集委員・査読委員

1. Physical Medicine and Rehabilitation Research: Yamamoto Shuhei.
- ※ その他, 国内については多数につき割愛.

Ⅷ. 学位取得

該当なし

IX. 資格取得等

1. 健康運動指導士：青木幹昌
2. 認定理学療法士(呼吸)：酒井康成
3. 認定理学療法士(循環)：石田昂彬
4. サルコペニア・フレイル指導士：松森圭司
5. 日本離床学会 離床アドバイザー：松森圭司
6. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士：小口和津子
7. がんのリハビリテーション研修 修了：堀内博志，石田ゆず，宮下美奈，大野智貴，小川恵里，竹田周平，望月優太，関みなみ，鈴木朝香，中島香織
8. 東京大学 経営のできる大学病院幹部養成プログラム 修了：井戸芳和

X. 表彰

1. 文部科学省 医学教育等関係業務功労者表彰受賞：唐澤達典

以上